



考

動

川西市立東谷中学校

学校便りNo.10 (01.10.15)

発行者 校長 足立 仁志

保護者の皆様へ

## 平成31年度 全国学力・学習状況調査結果について

学力調査に関して

| 教科  | 国語  | 数学  | 英語  | 英語<br>話すこと |
|-----|-----|-----|-----|------------|
| 東谷中 | 106 | 109 | 111 | 106        |
| 全国  | 100 | 100 | 100 | 100        |
| 差   | +6  | +9  | +11 | +6         |

今年度の調査では、例年行われている国語・数学に加え、英語が行われました。また、国語・数学は、例年、「主として知識力を調査する」A問題と、「主として活用力を調査する」B問題に分かれていましたが、今回は統一されています。

右上の表は、国語、数学、英語について、全国の平均正答率を100として、本校生の平均正答率と比較しています。

本校生の平均正答率は、全教科で6ポイント以上全国平均を上回っています。特に英語・数学は、非常に良好な状態にあります。また、他教科に比べ国語がやや低くなっていますが、この傾向は、例年と変わりません。

個別の設定問に関しても、全国平均と比較して大きく劣っているものではありませんでした。しかし、英語に関して、正答率が5.5％（全国7.6％）と、3.1％（全国1.8％）と低い問題もありました。一つは、留学生に対して自分ならどのようなアドバイスをするのかを英語で記述する問題です。もう一つは、二つの案内用図記号を比較し、タウンガイドに載せるにはどちらが良いか自分の意見を英語で記述する問題です。本校生徒に限らず、全国的にも英語で自分の考えを表現する力に課題があることがわかりました。英語の教科指導において、コミュニケーション能力の育成とともに、取り組まなければならない課題だと言えます。

### 質問紙調査との関連

過去の質問結果と同様に、「全ての問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した生徒は、国語89％・数学66％とどちらも全国平均を大きく上回っています。難しい問題でも途中であきらめたりせず、粘り強く課題解決に向けて取り組む生徒が多いことがわかります。自分の知識をフルに活用して解答しようと努力した生徒が多く、普段の学校生活で養われた粘り強く取り組む姿勢は、学力にもつながっていると感じています。

逆に、質問紙調査の結果、改めて浮き彫りになった課題がありました。国語・数学に関しては、「勉強は大切だ」「学習したことが将来役に立つ」と思っている生徒が全国平均を下回っています。数学は昨年度より若干改善されていますが、例年、同じような傾向が見られます。

#### ※グラフの見方 左から

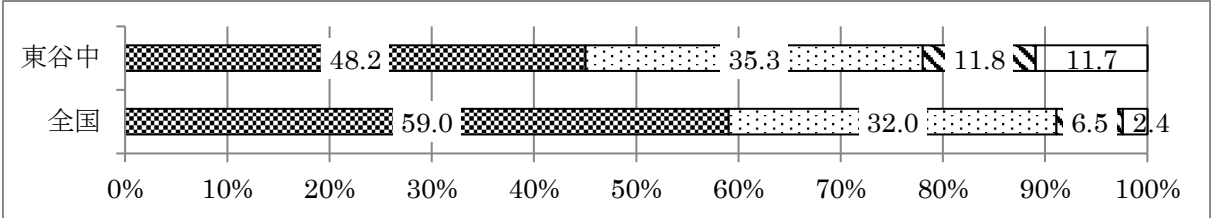
当てはまる

どちらかと言えば当てはまる

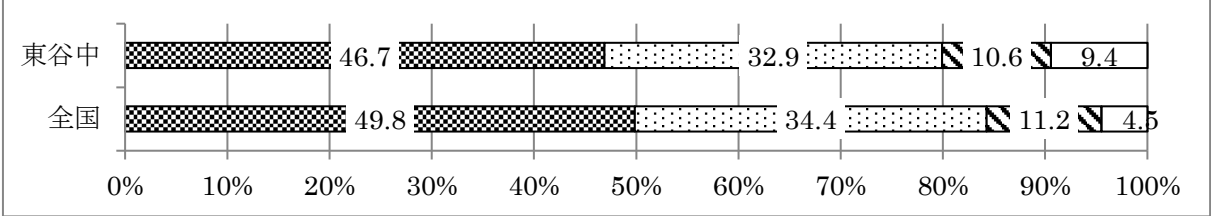
どちらかと言えば当てはまらない

当てはまらない

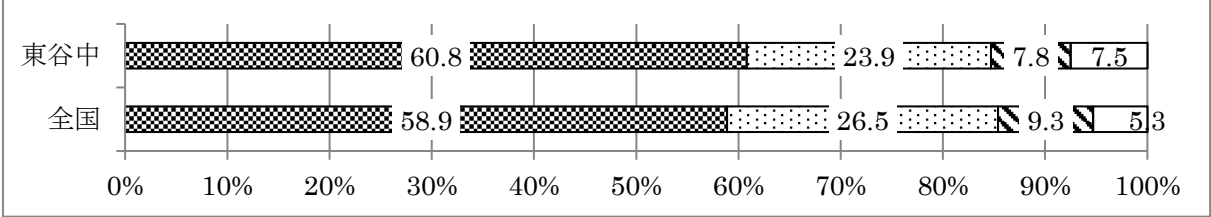
#### ■国語の勉強は大切だと思いますか



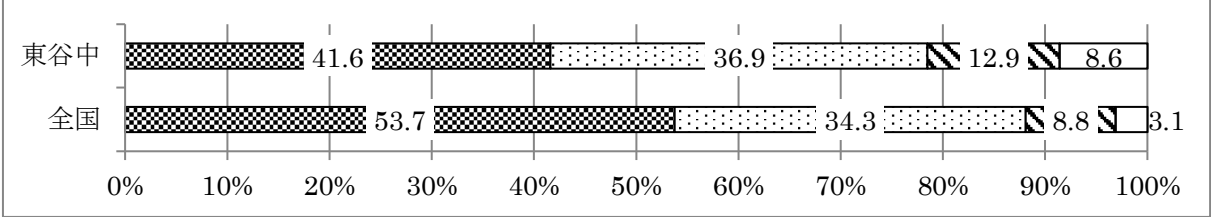
#### ■数学の勉強は大切だと思いますか



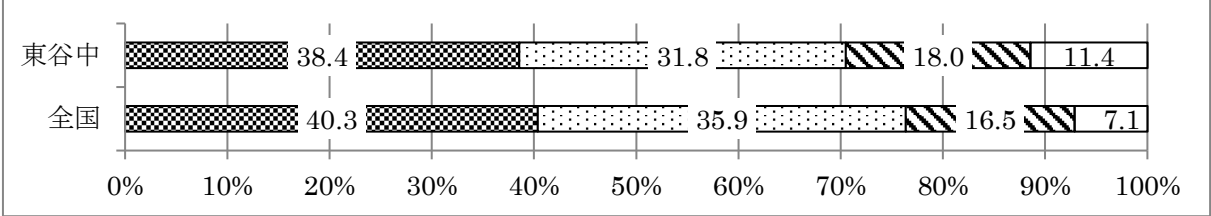
#### ■英語の勉強は大切だと思いますか



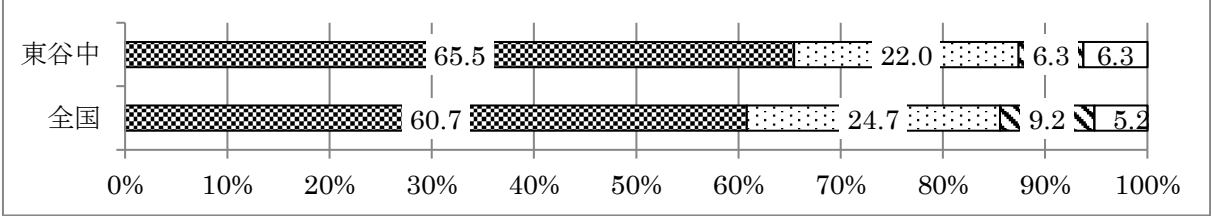
#### ■国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



#### ■数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



#### ■英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



今回初めて調査対象となった英語に関しては、他教科より肯定的回答が多くなっています。今年度、本校は英語教育で川西市教育委員会の研究指定を受けています。コミュニケーション能力の育成に力を入れていることが、肯定的回答が多くなる一つの要因だと考えられます。

中学校では令和３年度から全面実施となる新学習指導要領の最も大きなポイントは、「社会に開かれた教育課程」です。社会を意識させてこそ、学習は生徒の「生きる力」や「やる気」につながります。今後は、全教科において、学習内容を社会と関連づけて指導していきたいと思います。

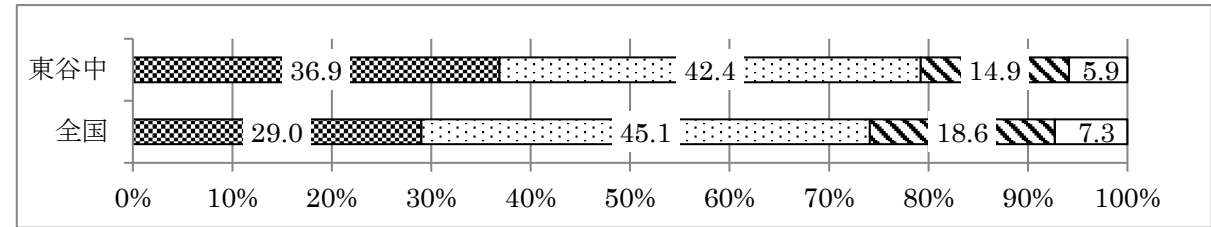
## 質問紙調査に関して

生活習慣、学習習慣、規範意識については、大半の生徒が良好な状態にあります。また、自己肯定感等について肯定的に回答した生徒は、全国平均を上回っています。しかし、将来の夢や目標を持つことができない生徒が多いことは気になります。自分の特性をしっかりと理解できれば、どんな職場や環境で働くことが自分の幸せにつながるのかが理解できるようになります。それは、将来の希望へとつながっていくでしょう。その意味でも、「キャリア教育」は今以上に重視しなければならないと考えています。

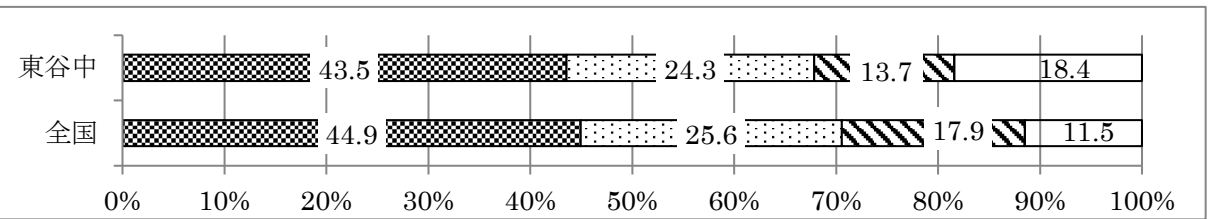
また、地域行事に対する参加意識は、今年度若干改善されていますが、まだ全国平均を下回る状況にあります。地域とのつながりを持って育った子どもは、自己肯定感が高いという調査結果もあります。親や学校の先生以外の大人との関わりは、豊かなキャリア形成につながっていきます。また、本校には知的好奇心が旺盛な生徒が多く、多様な学習の機会を提供できれば効果は大きいと思われます。

今後は、「学校運営協議会」の協力も得ながら地域社会と積極的につながることができる環境づくりを進めていきたいと思います。

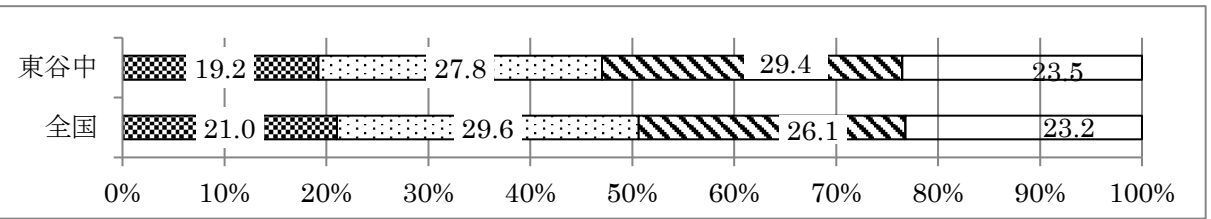
### ■自分には良いところがあると思いますか



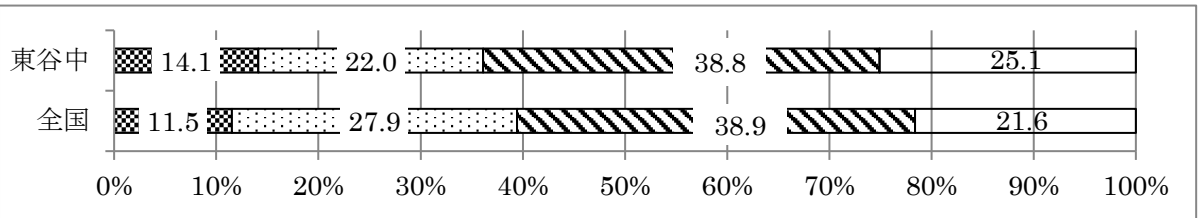
### ■将来の夢や目標を持っていますか



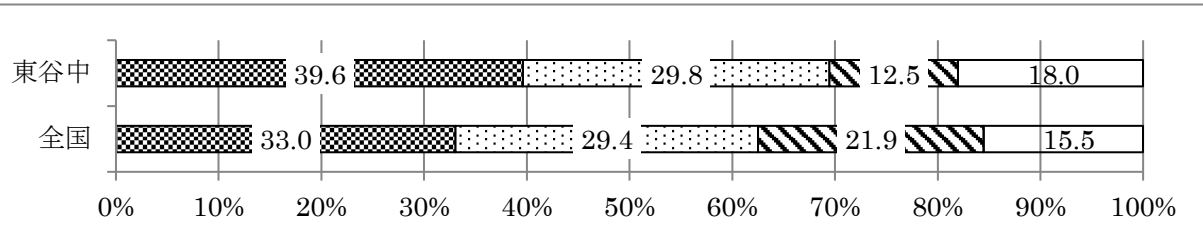
### ■今住んでいる地域行事に参加していますか



### ■地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか



### ■外国の人と友達になったり、外国のことをもっと知ったりしてみたいと思いますか



## まとめ

２００７年生まれの子ども（来年度中学１年生）の平均寿命は、１０７歳だと言われています。生徒たちの多くは、１００年を超えて生きることになります。その間に定年は伸び、大学を出ても５０年ほどは働くことになります。少子高齢化やグローバル化はますます進み、企業は終身雇用をやめ、海外からの優秀な人材の受け入れが拡大します。また、今後１０～２０年で今ある仕事の半数がＡＩやロボットに奪われ、子どもたちの６５％が今はまだない仕事に就くと予測されています。これからの変化の激しい社会で活躍するためには、常に学び続けることが求められます。

新学習指導要領の目指すところは、社会がどのように変化しても、生徒たちがたくましく生きていくために必要な資質や能力を育成することです。そのための「社会に開かれた教育課程」や「主体的・対話的で深い学び」（アクティブラーニング）です。本校におきましても、再来年度の新学習指導要領の全面実施に向けて取組を進めてまいります。保護者や地域の皆様のお力をお借りしながら、生徒たちの将来のために何ができるのかをしっかりと考え、教育活動の充実に努めてまいります。

## お詫び

先日、開催いたしました体育祭では、お忙しい中、ご観覧いただきありがとうございます。当日の天気予報が度々変わる中、あらゆる可能性を考えて準備したつもりでしたが、当日朝に前日の連絡事項を変更することとなりました。また、当日は早朝から学校ホームページにログインできない状態が続き、予定をアップする時間が大変遅くなってしまいました。申し訳ありませんでした。特に、緊急連絡メールに登録しておられないご家庭にはご心配、ご迷惑をおかけしました。

改めてお詫び申し上げます。

## お願い

今年度２回目の学校諸費の引き落とし日は、１０月２５日（金）となっています。前日まで、指定の口座へのご入金をお願いいたします。